

ダイワDBモメンタム 戦略ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合		
信託期間	2017年 8 月23日～2027年 8 月19日		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラース・モメンタム・アセット・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券	
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラース・モメンタム・アセット・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

運用報告書(全体版) 第15期

(決算日 2025年 2 月19日)

(作成対象期間 2024年 8 月20日～2025年 2 月19日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金への配分を変更しながら、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2721>
<2722>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

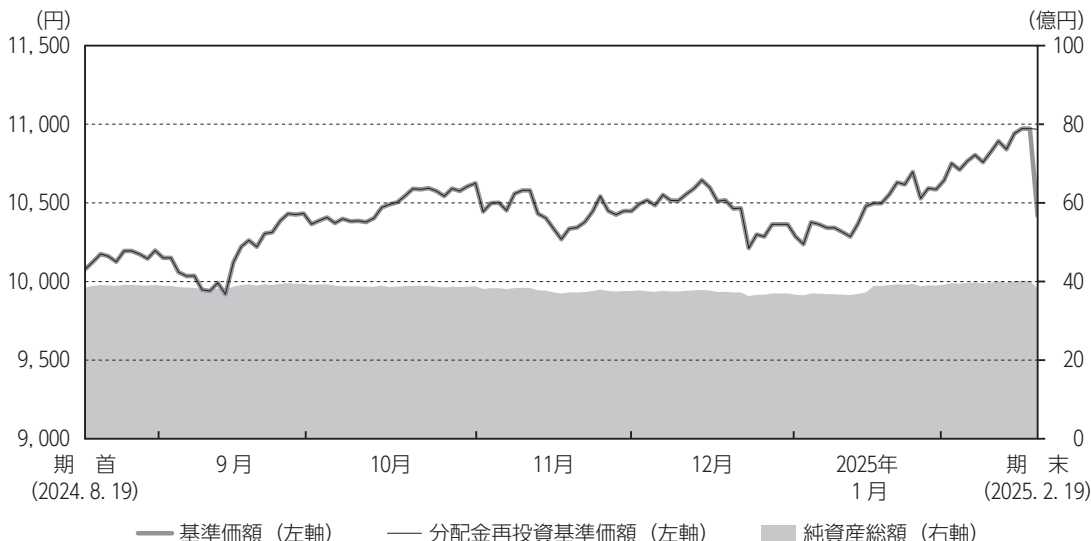
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末(2023年 2 月20日)	9, 589	0	△ 2. 9	—	98. 9	5, 683
12期末(2023年 8 月21日)	9, 317	0	△ 2. 8	—	98. 5	5, 056
13期末(2024年 2 月19日)	9, 684	50	4. 5	—	99. 2	4, 394
14期末(2024年 8 月19日)	10, 077	350	7. 7	0. 0	98. 1	3, 841
15期末(2025年 2 月19日)	10, 418	550	8. 8	0. 0	98. 0	3, 814

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,077円

期末：10,418円（分配金550円）

騰落率：8.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

主に「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」については、DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行った結果、米国株式と金および米ドルキャッシュの上昇がプラスに寄与した一方で、為替ヘッジコストがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）：オージェンタム・トラストーモメンタム・アセット・アロケーター・ファンド（日本円クラス）

ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
		騰 落 率		
	円	%	%	%
(期首) 2024年 8 月19日	10, 077	—	0. 0	98. 1
8 月末	10, 197	1. 2	0. 0	98. 5
9 月末	10, 433	3. 5	0. 0	98. 4
10月末	10, 625	5. 4	0. 0	98. 7
11月末	10, 448	3. 7	0. 0	98. 1
12月末	10, 286	2. 1	0. 0	98. 3
2025年 1 月末	10, 643	5. 6	0. 0	99. 1
(期末) 2025年 2 月19日	10, 968	8. 8	0. 0	98. 0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 8. 20 ～ 2025. 2. 19）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標が市場予想に比して低迷したことなどから下落しましたが、F R B（米国連邦準備制度理事会）が0. 50%ポイントの利下げを決定したことなどもあり、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0. 25%ポイントの利下げを決定したものの、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算発表などが好感されて株価は再び上昇し、当作成期末を迎えました。

■米国長期金利

米国長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国長期金利は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待が高まり、金利は低下（債券価格は上昇）基調となりました。しかし2024年10月に入ると、雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は大きく上昇しました。11月も、不確実性の高まりなどから金利は継続して上昇しましたが、大統領・連邦議会選挙が早期に決着したことで不確実性が後退したことなどから、金利は低下しました。しかし12月に入ると、底堅い経済指標等を背景に利下げペースの鈍化が意識されたことや、F R Bが今後の政策金利・経済見通しを引き上げたことなどから、金利は上昇基調となりました。2025年に入ると、インフレ鈍化の傾向が継続していることが確認されたことなどから、金利は低下に転じました。

■金市況

金価格は上昇しました。

金市況は、当作成期首から2024年10月にかけて、米国債券市場での金利低下や米国大統領選を控えたリスク回避の動きなどを受け、金への資金流入が強まり、金は上昇しました。その後は、米国金利の上昇などを受けて一時調整する局面もありましたが、12月下旬以降は各国中央銀行の買い需要が継続したことなどから、当作成期末にかけて金は上昇しました。

■米ドルキャッシュ

米国の短期金利は政策金利が4. 50%～5. 50%（年率）近辺で推移し、米ドルキャッシュ市況は緩

やかに上昇しました。

■短期金利市況

日銀は政策金利である「無担保コールレート（オーバーナイト物）」を、0.25%程度から0.50%程度に引き上げました。米国では、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の誘導目標を、5.25～5.50%から4.25～4.50%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数（※）の動きを反映した投資成果をめざして運用を行います。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールに基づき、配分比率の変更を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※DBモメンタム・アセット・アロケーター指数とは、ドイツ銀行が開発した、米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金を実質的な投資対象としてアセット・アロケーションを行い、各投資対象の価格の上昇傾向の勢いに着目して、パフォーマンスが相対的に良好な投資対象の配分比率を増加させるモメンタム戦略のパフォーマンスを指数化したものです。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2024. 8. 20 ～ 2025. 2. 19）

■当ファンド

「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資しました。「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行いました。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールに基づき、配分比率の変更を行いました。当作成期において、実質的な投資対象の比率は下表のように推移させました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

各月末の実質的な投資対象の比率

資 産	2024年 8 月末	9 月末	10 月末	11 月末	12 月末	2025年 1 月末
米国株式	62.4%	57.6%	51.1%	48.2%	45.0%	44.9%
米国長期金利	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金	30.3%	35.2%	46.5%	51.8%	55.0%	55.1%
米ドルキャッシュ	7.3%	7.2%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年8月20日 ～2025年2月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	550
対基準価額比率	(%)	5.01
当期の収益	(円)	177
当期の収益以外	(円)	372
翌期繰越分配対象額	(円)	487

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 0.22円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 177.71
(c) 収益調整金	272.42
(d) 分配準備積立金	✓ 587.19
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,037.56
(f) 分配金	550.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	487.56

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■モメンタム・アロケーター・ファンド（日本円クラス）

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行います。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールに基づき、配分比率の変更を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

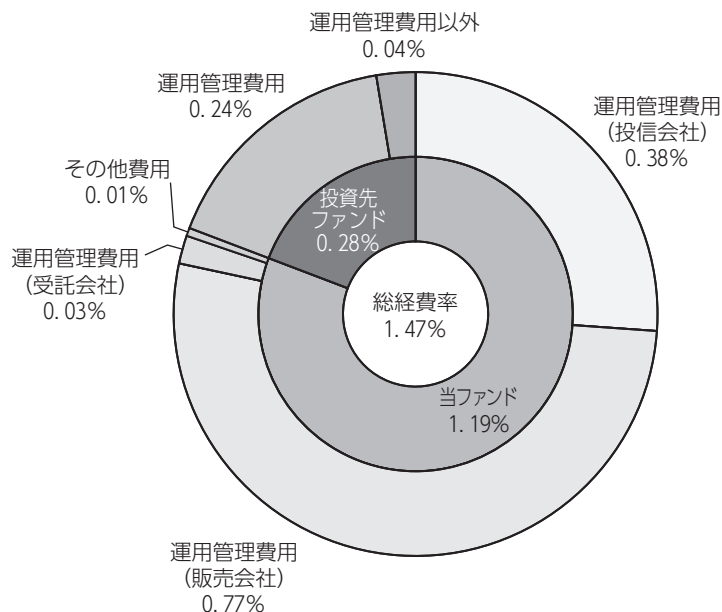
項 目	当 期 (2024. 8. 20～2025. 2. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0. 596%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 432円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0. 194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0. 600	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.47%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年8月20日から2025年2月19日まで)

		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	ARGENTUM TRUST MOMENTUM ASSET ALLOCATOR FUND JPY CLASS UNITS (ケイマン諸島)	2, 378. 85802	305, 000	5, 265. 30416	689, 000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) ARGENTUM TRUST MOMENTUM ASSET ALLOCATOR FUND JPY CLASS UNITS	27, 567. 59461	3, 739, 158	98. 0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年2月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3, 739, 158	92. 6
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	299, 601	7. 4
投資信託財産総額	4, 038, 762	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年2月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4, 038, 762, 083円
コール・ローン等	299, 601, 873
投資信託受益証券 (評価額)	3, 739, 158, 262
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド (評価額)	1, 948
(B) 負債	224, 355, 237
未払収益分配金	201, 370, 652
未払信託報酬	22, 825, 428
その他未払費用	159, 157
(C) 純資産総額 (A－B)	3, 814, 406, 846
元本	3, 661, 284, 599
次期繰越損益金	153, 122, 247
(D) 受益権総口数	3, 661, 284, 599口
1万口当り基準価額 (C／D)	10, 418円

* 期首における元本額は3, 812, 413, 841円、当作成期間中における追加設定元本額は195, 970, 244円、同解約元本額は347, 099, 486円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 418円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 8月20日 至 2025年 2月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	88,819円
受取利息	88,819
(B) 有価証券売買損益	343,017,050
売買益	356,000,763
売買損	△ 12,983,713
(C) 信託報酬等	△ 22,984,585
(D) 当期損益金 (A + B + C)	320,121,284
(E) 前期繰越損益金	△ 39,982,218
(F) 追加信託差損益金	74,353,833
(配当等相当額)	(99,742,581)
(売買損益相当額)	(△ 25,388,748)
(G) 合計 (D + E + F)	354,492,899
(H) 収益分配金	△ 201,370,652
次期繰越損益金 (G + H)	153,122,247
追加信託差損益金	74,353,833
(配当等相当額)	(99,742,581)
(売買損益相当額)	(△ 25,388,748)
分配準備積立金	78,768,414

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	81,924円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	65,066,871
(c) 収益調整金	99,742,581
(d) 分配準備積立金	214,990,271
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	379,881,647
(f) 分配金	201,370,652
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	178,510,995
(h) 受益権総口数	3,661,284,599口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	550円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

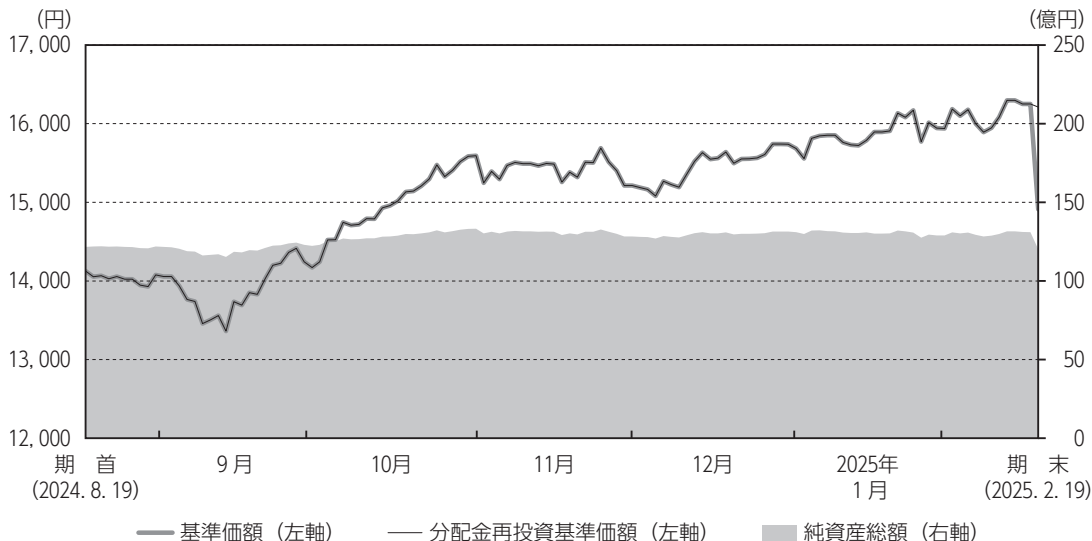
決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額
		期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末(2023年 2 月20日)	12, 115	200	△ 1. 2	—	98. 6	13, 098
12期末(2023年 8 月21日)	12, 816	300	8. 3	—	98. 6	12, 421
13期末(2024年 2 月19日)	13, 346	950	11. 5	—	98. 5	12, 125
14期末(2024年 8 月19日)	14, 126	400	8. 8	0. 0	98. 1	12, 163
15期末(2025年 2 月19日)	14, 912	1, 300	14. 8	0. 0	98. 1	12, 026

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：14,126円

期末：14,912円（分配金1,300円）

騰落率：14.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

主に「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」については、DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行った結果、米国株式と金および米ドルキャッシュの上昇がプラス要因となりました。また、米ドルが対円で上昇（円安）したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラストーモメンタム・アセット・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）

ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
		騰 落 率		
(期首) 2024年 8 月19日	円	%	%	%
	14, 126	—	0.0	98.1
8 月末	14, 078	△ 0.3	0.0	98.7
9 月末	14, 244	0.8	0.0	99.2
10月末	15, 593	10.4	0.0	98.9
11月末	15, 212	7.7	0.0	98.7
12月末	15, 685	11.0	0.0	98.5
2025年 1 月末	15, 940	12.8	0.0	99.3
(期末) 2025年 2 月19日	16, 212	14.8	0.0	98.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 8. 20 ～ 2025. 2. 19）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標が市場予想に比して低迷したことなどから下落しましたが、F R B（米国連邦準備制度理事会）が0. 50%ポイントの利下げを決定したことなどもあり、9月中旬以降は上昇基調で推移しました。11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0. 25%ポイントの利下げを決定したものの、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算発表などが好感されて株価は再び上昇し、当作成期末を迎えました。

■米国長期金利

米国長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国長期金利は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待が高まり、金利は低下（債券価格は上昇）基調となりました。しかし2024年10月に入ると、雇用指標が市場予想を大きく上回ったことで大幅な利下げ織り込みがはく落したことや、大統領選挙を控えて財政赤字拡大への懸念が広がったことなどから、金利は大きく上昇しました。11月も、不確実性の高まりなどから金利は継続して上昇しましたが、大統領・連邦議会選挙が早期に決着したことで不確実性が後退したことなどから、金利は低下しました。しかし12月に入ると、底堅い経済指標等を背景に利下げペースの鈍化が意識されたことや、F R Bが今後の政策金利・経済見通しを引き上げたことなどから、金利は上昇基調となりました。2025年に入ると、インフレ鈍化の傾向が継続していることが確認されたことなどから、金利は低下に転じました。

■金市況

金価格は上昇しました。

金市況は、当作成期首から2024年10月にかけて、米国債券市場での金利低下や米国大統領選を控えたリスク回避の動きなどを受け、金への資金流入が強まり、金は上昇しました。その後は、米国金利の上昇などを受けて一時調整する局面もありましたが、12月下旬以降は各国中央銀行の買い需要が継続したことなどから、当作成期末にかけて金は上昇しました。

■米ドルキャッシュ

米国の短期金利は政策金利が4. 50%～5. 50%（年率）近辺で推移し、米ドルキャッシュ市況は緩

やかに上昇しました。

■米ドル／円為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀による追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。2024年9月も、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。しかし10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、月半ばに円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、おおむね日米金利差の動きに連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで、円高に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数（※）の動きを反映した投資成果をめざして運用を行います。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールに基づき、配分比率の変更を行います。

※DBモメンタム・アセット・アロケーター指数とは、ドイツ銀行が開発した、米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金を実質的な投資対象としてアセット・アロケーションを行い、各投資対象の価格の上昇傾向の勢いに着目して、パフォーマンスが相対的に良好な投資対象の配分比率を増加させるモメンタム戦略のパフォーマンスを指数化したものです。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 8. 20 ~ 2025. 2. 19)

■当ファンド

「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資しました。「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行いました。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールに基づき、配分比率の変更を行いました。当作成期において、実質的な投資対象の比率は下表のように推移させました。

各月末の実質的な投資対象の比率

資 産	2024年 8 月末	9 月末	10月末	11月末	12月末	2025年 1 月末
米国株式	62.4%	57.6%	51.1%	48.2%	45.0%	44.9%
米国長期金利	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金	30.3%	35.2%	46.5%	51.8%	55.0%	55.1%
米ドルキャッシュ	7.3%	7.2%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年8月20日 ～2025年2月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	1,300
対基準価額比率	(%)	8.02
当期の収益	(円)	1,300
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,912

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 0.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 2,081.29
(c) 収益調整金	914.48
(d) 分配準備積立金	3,216.23
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	6,212.32
(f) 分配金	1,300.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	4,912.32

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■モメンタム・アロケーター・ファンド（米ドル・クラス）

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行います。DBモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールに基づき、配分比率の変更を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 8. 20～2025. 2. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	90円	0.596%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,144円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	91	0.600	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

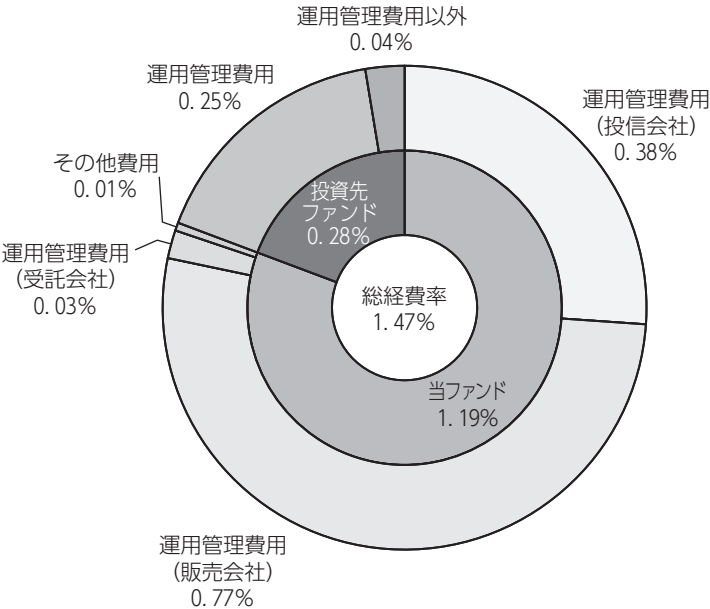
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.47%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。
（注4）各比率は、年率換算した値です。
（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年 8月20日から2025年 2月19日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	ARGENTUM TRUST MOMENTUM ASSET ALLOCATOR FUND USD CLASS UNITS (ケイマン諸島)	2, 320. 46973	518, 000	10, 680. 88474	2, 497, 000

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) ARGENTUM TRUST MOMENTUM ASSET ALLOCATOR FUND USD CLASS UNITS	49, 288. 95645	11, 799, 726	98. 1

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 2月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	11, 799, 726	89. 6
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	1, 362, 587	10. 4
投資信託財産総額	13, 162, 316	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 2月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13, 162, 316, 065円
コール・ローン等	1, 362, 587, 276
投資信託受益証券 (評価額)	11, 799, 726, 885
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド (評価額)	1, 904
(B) 負債	1, 135, 740, 405
未払収益分配金	1, 048, 431, 354
未払解約金	10, 613, 747
未払信託報酬	76, 164, 016
その他未払費用	531, 288
(C) 純資産総額 (A－B)	12, 026, 575, 660
元本	8, 064, 856, 574
次期繰越損益金	3, 961, 719, 086
(D) 受益権総口数	8, 064, 856, 574口
1万口当り基準価額 (C／D)	14, 912円

* 期首における元本額は8, 610, 381, 404円、当作成期間中における追加設定元本額は97, 394, 603円、同解約元本額は642, 919, 433円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は14, 912円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 8月20日 至 2025年 2月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	263, 928円
受取利息	263, 928
(B) 有価証券売買損益	1, 755, 216, 531
売買益	1, 839, 818, 029
売買損	△ 84, 601, 498
(C) 信託報酬等	△ 76, 695, 304
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1, 678, 785, 155
(E) 前期繰越損益金	2, 593, 847, 580
(F) 追加信託差損益金	737, 517, 705
(配当等相当額)	(388, 153, 041)
(売買損益相当額)	(349, 364, 664)
(G) 合計 (D + E + F)	5, 010, 150, 440
(H) 収益分配金	△ 1, 048, 431, 354
次期繰越損益金 (G + H)	3, 961, 719, 086
追加信託差損益金	737, 517, 705
(配当等相当額)	(388, 153, 041)
(売買損益相当額)	(349, 364, 664)
分配準備積立金	3, 224, 201, 381

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	248, 589円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1, 678, 536, 566
(c) 収益調整金	737, 517, 705
(d) 分配準備積立金	2, 593, 847, 580
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5, 010, 150, 440
(f) 分配金	1, 048, 431, 354
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3, 961, 719, 086
(h) 受益権総口数	8, 064, 856, 574□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	1, 300円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

モメンタム・アロケーター・ファンド
(日本円クラス／米ドル・クラス)

当ファンド（ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストーモメンタム・アセット・アロケーター・ファンド（日本円クラス／米ドル・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

(日本円建て)

貸借対照表
2023年12月31日

資産		
投資資産の公正価値による評価額（簿価 ¥13, 969, 360, 341）	¥	16, 578, 431, 737
現金および現金同等物		392, 532, 643
外国為替先渡取引による評価損益		633, 277
外国為替スワップ取引による評価損益		32, 493, 259
清算済みスワップ取引に係る未収金		151, 010, 835
その他資産		6, 019, 565
資産合計		17, 161, 121, 316
負債		
未払：		
投資資産購入に係る未払金		411, 148, 718
償還済み受益証券		83, 000, 000
管理会社報酬		4, 207, 462
専門家報酬		3, 691, 824
運用会社報酬		1, 955, 935
受託会社報酬		229, 162
名義書換代理人報酬		13, 457
負債合計		504, 246, 558
純資産		
	¥	16, 656, 874, 758
日本円クラス		
	¥	4, 468, 893, 644
米ドル・クラス		
		12, 187, 981, 114
	¥	16, 656, 874, 758
発行済み受益証券		
日本円クラス		39, 522, 812
米ドル・クラス		69, 954, 986
受益証券1口当り純資産額		
日本円クラス	¥	113. 071
米ドル・クラス	¥	174. 226

損益計算書

2023年12月31日に終了した年度

投資収益	
受取利息	¥ 3,122,397
投資収益合計	<u>3,122,397</u>
費用	
運用会社報酬	26,271,261
支払利息	17,963,910
管理会社報酬	14,354,454
専門家報酬	6,371,075
名義書換代理人報酬	1,786,704
受託会社報酬	1,681,920
その他費用	1,095
費用合計	<u>68,430,419</u>
純投資損益	<u>(65,308,022)</u>
実現損益および評価損益の変動：	
実現損益の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	5,476,281,973
外国為替スワップ取引	(629,790,128)
外国為替取引および外国為替先渡取引	(2,308,593)
純実現損益	<u>4,844,183,252</u>
評価損益の変動の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	(2,626,927,927)
外国為替スワップ取引	(110,923,953)
外国為替換算および外国為替先渡取引	3,752,083
評価損益の純変動	<u>(2,734,099,797)</u>
純実現損益および評価損益の純変動	<u>2,110,083,455</u>
運用の結果による純資産の純増減	<u>¥ 2,044,775,433</u>

投資明細表
2023年12月31日

ストラクチャード商品

銘柄名	受益証券数	純資産に占める割合	公正価値による評価額	
Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Index* ートータル・リターン・スワップ	85,657	99.53%	¥	16,578,431,737
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥13,969,360,341)				16,578,431,737
投資資産計 (簿価 ¥13,969,360,341)		99.53%	¥	16,578,431,737

*当ファンドは Deutsche Bank A. G., ロンドン支店との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Index と同様のエクスポージャーを有しています。

外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	純評価損益	純資産に占める割合
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	83,000,000	01/04/2024	U S D	584,310	¥ 633,277	0.00%
外国為替先渡取引による評価損益						¥ 633,277	
合計						¥ 633,277	

日本円クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価損益	純資産に占める割合
J P Y	Deutsche Bank A. G.	4,455,354,514	1/31/2024	U S D	(31,506,164)	¥ 32,493,259	0.20%
外国為替スワップ取引による評価損益						¥ 32,493,259	
合計						¥ 32,493,259	

用語集:

J P Y 日本円
U S D 米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年2月19日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年8月20日から2025年2月19日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1277国庫短期証券 2025/3/31	319,885	1277国庫短期証券 2025/3/31	299,862
1258国庫短期証券 2024/12/23	179,982	1266国庫短期証券 2025/2/10	49,991
1284国庫短期証券 2025/5/7	79,934		
1282国庫短期証券 2025/4/21	79,931		
1266国庫短期証券 2025/2/10	49,998		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年2月19日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（628,928千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2025年2月19日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B格 以下組入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 180,000	千円 179,895	% 28.7	% —	% —	% —	% 28.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年2月19日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1277国庫短期証券	% —	千円 20,000	千円 19,996	2025/03/31	
	1282国庫短期証券	—	80,000	79,953	2025/04/21	
	1284国庫短期証券	—	80,000	79,946	2025/05/07	
合 計	銘 柄 数 金 額	3銘柄				
			180,000	179,895		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

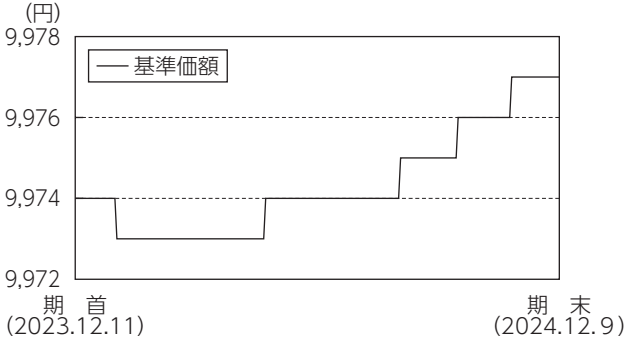
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2023年12月11日	9,974	—	—
12月末	9,974	0.0	—
2024年 1 月末	9,973	△0.0	—
2 月末	9,973	△0.0	—
3 月末	9,973	△0.0	59.1
4 月末	9,973	△0.0	60.1
5 月末	9,974	0.0	84.9
6 月末	9,974	0.0	58.2
7 月末	9,974	0.0	56.6
8 月末	9,975	0.0	70.5
9 月末	9,976	0.0	69.2
10月末	9,976	0.0	61.6
11月末	9,977	0.0	59.6
(期末)2024年12月 9 日	9,977	0.0	56.7

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：9,974円 期末：9,977円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】
短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国債証券	653,962	(424,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1258国庫短期証券	2024/12/23	179,982			
1219国庫短期証券	2024/6/24	173,997			
1239国庫短期証券	2024/9/24	149,999			
1247国庫短期証券	2024/11/5	59,988			
1266国庫短期証券	2025/2/10	49,998			
1245国庫短期証券	2024/10/21	39,996			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期 区分	当 期			期 末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	230,000	229,996	56.7	—	—	—	56.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	当 期		期 末		
	銘柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券	1258国庫短期証券	—	千円 180,000	千円 179,997	2024/12/23
	1266国庫短期証券	—	50,000	49,999	2025/02/10
	合計	銘柄数 2銘柄	230,000	229,996	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	229,996	56.7
コール・ローン等、その他	175,959	43.3
投資信託財産総額	405,956	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	405,956,176円
コール・ローン等	175,959,938
公社債(評価額)	229,996,238
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	405,956,176
元本	406,872,006
次期繰越損益金	△ 915,830
(D) 受益権総口数	406,872,006口
1万口当り基準価額(C／D)	9,977円

* 期首における元本額は237,822,978円、当作成期間中における追加設定元本額は798,521,779円、同解約元本額は629,472,751円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり） 999円
 ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし） 999円
 通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型） 1,995円
 通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型） 1,999円
 ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型） 1,101円
 ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型） 1,702円
 ダイワ米国株主還元株ファンド 1,043円
 ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり） 1,952円
 ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし） 1,908円
 ダイワ/バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーション・ファンド 1,978円
 世界M&A戦略株ファンド 1,602円
 ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース 49,911円
 ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース 49,911円
 S & P 500（マルチアイ搭載） 106,168,088円
 i Free ETF S & P 500ダブルインバース 300,585,799円
 ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型） 1,019円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,977円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は915,830円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	146,307円
受取利息	159,075
支払利息	△ 12,768
(B) 有価証券売買損益	100
売買益	100
(C) 当期損益金(A＋B)	146,407
(D) 前期繰越損益金	△ 621,909
(E) 解約差損益金	1,591,751
(F) 追加信託差損益金	△2,032,079
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	915,830
次期繰越損益金(G)	△ 915,830

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。